

## ■クリーニングと 印字テスト

●最初クリーニングを1回行い、プリントテストをしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとプリントテストをして下さい。  
クリーニングと印字テストの方法はプリンタの取扱説明書を参照して下さい。

### つめ替え回数

●インクボトルのボトルキャップをノズルの元まで締めて、次のつめ替えまで保管して下さい。

### つめ替えが終わったら

●つめ替えによるカートリッジの再使用は、インクを使い切った場合3回までが適当です。それ以上のつめ替えはインクの供給の不都合が生じ、正常なプリントができなくなる恐れがあります。その際は、新しいカートリッジをお求め下さい。

## ■トラブルシューティング

症状	原因	対処
プリントしても印字しない。	プリントヘッドのクリーニングが十分でない。	繰り返しクリーニングを行う。
インクが飛び散るような印字になる。	プリントヘッドの表面に余分なインクが付着している。	綿棒がペーパータオルなどでプリントヘッド表面に付着しているインクを吸い取る。その後、クリーニングを行う。
スジやカスレがでる。	プリントヘッドが乾燥している。または使用後一定期間放置されたカートリッジに発生しやすい。	40℃前後の温水を含ませたペーパータオルにプリントヘッドを約30秒程押し当て、インクがにじむようにする。

■インク成分：ブラック…[蒸留水] 50~60%・[溶剤(グリコール)] 20~30%・[その他(顔料など)] 2~10%

## 保 管

●つめ替えた後の残ったインクは、ノズルキャップをしっかりとして直射日光の当たる所及び高温多湿の場所は避け、涼しくて乾燥した所に立てて保管して下さい。

## ▲安全上のご注意

次の項目は、つめ替える時の危害や損傷を未然に防ぎ、リインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。

- つめ替えは新聞紙などを敷いて、その上で行って下さい。
- つめ替えるときにインクがこぼれ、周辺が汚れることがあります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意下さい。
- 本製品のインクは身体や衣類などに付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入するときの他は不用意にインクボトルを強く振り過ぎたり、逆さまに持たないようにして下さい。インクボトルのノズル先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないよう注意して下さい。
- ポケットドリルは金属製です。ご使用の際は、手、指などケガをしないように説明書に従い注意して取り扱って下さい。使用しない時は、パッケージ(外箱)に入れて保管して下さい。また、つめ替えインクの用途以外には使用しないで下さい。

## ▲注 意

- 子供の手の届くところに置かないで下さい。
- 飲むことは出来ません。誤って飲んでしまった場合は、すみやかに医師の診断を受けて下さい。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流して下さい。
- カートリッジをプリンタから外したり、取り付ける際はプリンタの取扱説明書の指示に従って下さい。
- インクは開封後1年以内にご使用下さい。

製 造 元 Renewable Resources, Inc. New York / Made in U.S.A.

輸入発売元 **北村製作所**  
 海外事業部 石川郡松任市専備寺町96-1  
 TEL.076-276-3111 FAX.076-276-1529  
 大阪営業所 大阪市淀川区宮原5-1-28 新大阪八千代ビル別館4F  
 TEL.06-6395-2302 FAX.06-6391-0351



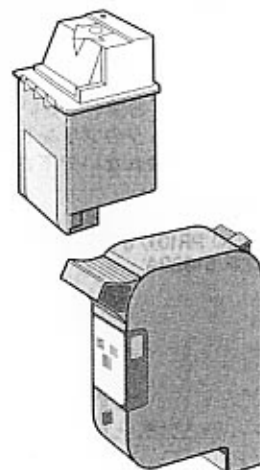
# リインク取扱説明書

つめ替えインク

H72100

REIN™はRenewable Resources, Inc.の登録商標です。

	対応カートリッジ	対応プリンタ
NEC	PR101/J180-01A	PICTY 700・220・200・300・180
	PR101/J400-01A	PICTY 900・4000・400・320
ヒューレット・ パッカード	51629A	デスクジェット 694C デスクライター 600・660C・680C・694C
	51645A	デスクジェット 895Cxi・880C・710C・850C 720C・1120C デザインジェット 750C+・750C・700
	51640A	デスクジェット 1200C デザインジェット 650C・450C・350C・250C 430・230



■インクカートリッジの種類により適応するインクが異なります。

対応カートリッジを確認の上ご使用下さい。

■インクは身体及び衣類に付着するとすぐには消えません。取扱いには注意して下さい。

■ご使用前に注意事項を必ずお読み下さい。

## セット内容

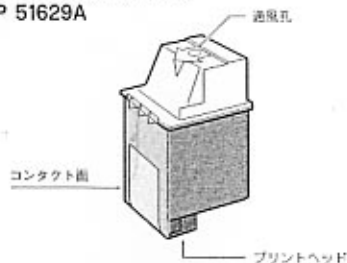
- ①インクボトル  
ブラック  
60ml 1本
- ②カートリッジ  
ホルダー  
1個
- ③ポケットドリル 1個
- ④スティック 1本
- ⑤プラグ 4個
- ⑥ドリル位置決めシール 1枚
- ⑦通気孔シール 3枚
- ⑧手袋 1組
- ⑨取扱説明書 1枚

## つめ替えの前に

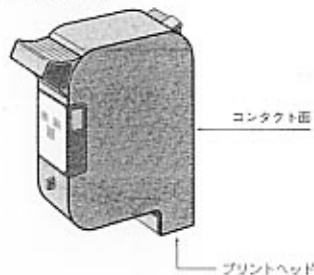
- つめ替えのときにインクがこぼれて、周辺が汚れることもあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上でつめ替えを行って下さい。
- 本説明書は、2種類のプリントカートリッジのつめ替え方法を記載してあります。インクは共通ですが、カートリッジに適したつめ替えキットをお使い下さい。
- カートリッジのプリントヘッド面、コンタクト面には触れないで下さい。(図A)

### 図A

- NEC PR101/J180-01A
- HP 51629A



- NEC PR101/J400-01A
- HP 51645A・51640A



- インクボトルのノズルキャップを取り外したり閉めたりする際は、ノズルの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かして下さい。
- インクボトルの部分は、押さえないで下さい。押さえるとインクが飛び出すことがあります。
- ノズルキャップを閉める際は、ノズル先端から1cm程度差し込んで下さい。

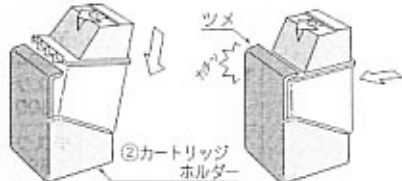


## ● NEC PR101/J180-01A ● HP 51629A

### つめ替え手順

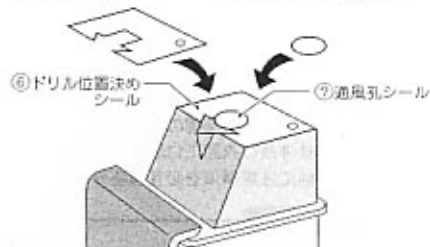
#### 1 つめ替えの準備

カートリッジのプリントヘッド(図A)をカートリッジホルダー底の奥側スポンジに合わせて押し込み、ホルダー上部のツメに「カチッ」と音がするまで押し込みます。



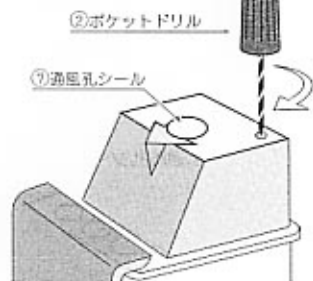
#### 2 インク注入口の位置を決めます

- ①カートリッジ上部にドリル位置決めシールを貼ります。
- ②通風孔(図A)に通風孔シールをシワやスチンがないように貼ります。



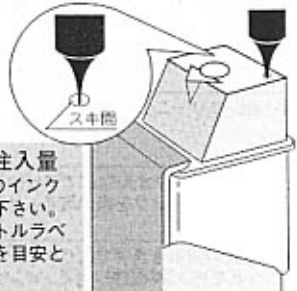
#### 3 カートリッジに注入口を開けます

カートリッジ上部に貼り付けた位置決めシールの丸穴部分にポケットドリルの先端を当て、少し力を加え時計方向に回転させながら穴を開けます。完全に穴が開いたらポケットドリルを反時計方向に回しながら抜き取り、切りくずを取り除いて下さい。



#### 4 インクを注入します

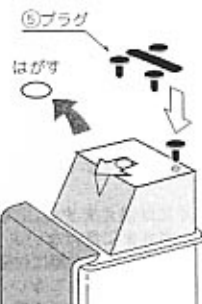
付属の手袋を着用して下さい。ノズルの先を注入口に約1cm程度差し込み、ボトルを手の平で握り、ゆっくりと絞りながら静かにインクを注入します。ノズルの根元で注入口をふさがないように、必ず空気逃げのスチンを開けて下さい。



- インク注入量  
1回約20mlのインクを注入して下さい。注入量はボトルラベルの目盛りを目安として下さい。

#### 5 プラグを差し込みます

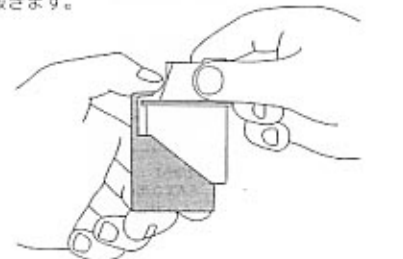
プラグを1個取り外しインク注入口にしっかりと栓をします。しっかりしていないと、プリントヘッドなどからインクがもれる場合があります。その後、手順2で貼った通風孔シールをはがして下さい。



- 2回目以降のつめ替えは手順1の後、プラグを④スティックで外してつめ替えます。

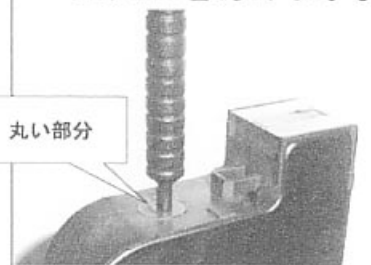
#### 6 ホルダーからカートリッジを外します

ホルダーのツメ部分を親指で持ち、もう一方の手でカートリッジ上部を持ち、カートリッジをスポンジ部分に押し付けるように引き下げ、そのまま抜きます。

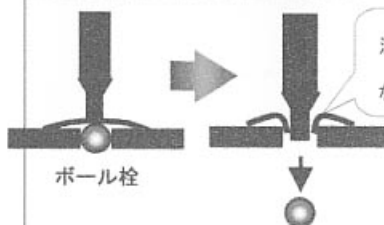


1

カートリッジに  
注入口をあけます。



丸い部分



ボール栓

注入口と  
なります。

スキ間をとります。

インクカートリッジの写真に示す丸い部分の下にはボール栓があります。この丸い部分の中央にスティックの先を押し当てて、ボール栓をカートリッジの中に落としこんでください。

●**取**扱いは中はプリントヘッドやコンタクトに触れないようにして下さい。●**落**とし込んだボール栓はカートリッジの中に残りますがプリントには影響はありません。

2

インクを注入します。

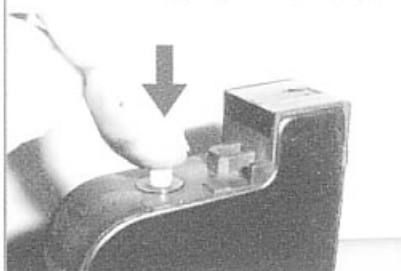


インクの注入量はボトルの目盛りを目安にして、1回に約30mlのインクを注入して下さい。付属の手袋を着用して、ノズルの先を注入口に約1cm程差し込み、ボトルをゆっくりと押しながらインクを注入します。この時、ノズルと注入口の間に必ず空気逃げのすき間を開けてください。

❗**注**入口をノズルの根元でふさいでしまうと空気の逃げがなくなり、プリントヘッドからインクがもれ続けて止まらなかったり、中のインク袋が圧力で破れたりして不具合の原因となります。

3

注入口にプラグを  
差し込みます。



注入中にこぼれたインクをきれいにふき取り、プラグ(大)で注入口に栓をします。

●**プ**ラグは最後までしっかりと差し込んで下さい。



詰め替えがおわったら

クリーニングとテスト印刷

最初にクリーニングを1回行い、テスト印刷をして下さい。印刷が良くない場合はもう一度クリーニングとテスト印刷をして下さい。

**2回目**以降の詰め替えはプラグをスティックで外して詰め替えて下さい。

4

カートリッジの内部調整  
(インクの引き出し)をします。



カートリッジ内部のインクと空気を安定させるため、プリントヘッドをペーパータオルなどに軽く押し当て、約30～60秒間インクを引き出してください。プリントヘッドや注入口からインクのもれがないか確認してから、プリンターに取り付けて下さい。

●**イ**ンクのもれが止まらない場合は、注入口のプラグの差し込み方がしっかりしているかを確認して、プリントヘッドのもれの時は内部調整をもう一度行って下さい。

❗**も**れが止まらないカートリッジをそのままプリンターに取り付けないで下さい。プリンター故障の原因となります。

注意事項などその他の項目は、取扱説明書の本書をお読み下さい。